

令和元年度第4回幕別町創生総合戦略審議会議事録

1 開催日時

令和元年12月26日（木）18:30～19:00

2 開催場所

幕別町役場3階会議室A・B

3 出席委員（15名）

森委員、中田委員、藤原委員、加藤茂樹委員、岩谷委員、佐々木委員、大槻委員、
高道委員、山本委員、喜多委員、房川委員、加藤リエ委員、堀委員、堀川委員、森田委員
※宮田委員、仙北谷委員、鳥井委員、細谷地委員、大山委員は欠席

4 審議

次期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山岸 伸雄
企画総務部参事	川瀬 康彦
〃 政策推進課長	谷口 英将
〃 政策推進課副主幹	中田 周呼
〃 政策推進課副主幹	西明 正博

6 傍聴者

1名

7 議事録

(企画総務部参事)

ただいまより、令和元年度第4回幕別町創生総合戦略審議会を開会いたします。

議事に入る前に、事前にお配りしております資料を確認させていただきます。

資料1から資料3まで用意しておりますが、皆様お手元にございますか。

資料が無いという方がいらっしゃいましたら、こちらまでお声を掛けてください。

よろしいでしょうか。

なお、本日、宮田委員、仙北谷委員、鳥井委員、細野地委員、大山委員から欠席の連絡がありましたので、ご報告申し上げます。

それでは、ここからは藤原会長から議事の進行をお願いいたします。

(藤原会長)

皆さんこんばんは。年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日の会議では前回の審議会までに皆様からいただいたご意見をまとめまして、総合戦略に反映した案について説明します。

何か気になる点などございましたら、ご発言いただきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは議事に入ります。

議案第1号、次期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

先月28日に開催しました第3回審議会でのご意見等を踏まえ、総合戦略の案の事務局案を作成したところでございます。

本日は、委員の皆様から事務局案へのご意見をいただき、案を策定したいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、資料に基づき説明いたします。

資料1の「令和元年度第3回幕別町総合戦略審議会における意見・質問事項」と資料2の「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)をご覧ください。

第3回の審議会でもいただいたご意見をあらためて共有しながら、総合戦略に反映した箇所を中心に説明いたします。

資料1の1ページをご覧ください。

中段になりますが、堀委員から、総合戦略には特別支援教育に関する取り組みとして、インクルーシブ教育を推進していること、または、町内の教育機関という括りで「教育機関を支援していく」というような言葉を入れて欲しいとのご意見をいただきました。

このご意見に対する対応としまして、資料2の22ページをご覧ください。

(4) 魅力ある教育環境の整備の具体的な施策の中で、「子供の発達等に応じた柔軟で多様な教育の充実」という文言を追記しました。これは、大きな括りでの表現となりますが、特別支援教育はもとより、不登校や心の悩みに応じるなど、支援を必要としている児童生徒が適切

な教育を受けられるよう関係機関と連携して対応することを含んでいます。

続いて資料1の1ページに戻っていただきまして、下段になります。鳥井委員から2点ご指摘をいただきました。

1点目は町内事業者における中途採用労働者の数は分からないのかという指摘でしたが、町ではこれまで中途採用者を把握するための調査は行っていないことから基準値も設定できないため、当初の設定どおり、新卒者町内就職者数としました。

2ページ目をご覧ください。

○の3つめの国内客と外国人客との「数値の伸び」に伴う整合性についてでございますが、資料2の17Pをご覧ください。

当初、「宿泊者数」と「訪日外国人宿泊数」とそれぞれKPIを設定していましたが、今後、インバウンドの増加に向けた施策をより推進することを明確に打ち出すため、「宿泊者数」はを外し、「訪日外国人宿泊者数」のみとしました。

続いて、資料1の2ページに戻っていただきまして、仙北谷委員から畑作に関わる指標についてご意見をいただきました。

この意見に対する対応としましては、資料2の14ページをご覧ください。

下段のKPIで新たに「自動操舵システム搭載トラクターの導入台数」を設定しました。

この自動操舵システム搭載トラクターは、今後町内でも導入が見込まれており、主に畑作を中心に活用されていること、また、目標値として設定している300台は農協への聞き取りなどによると近年の導入実績や今後町内農家においても導入が見込まれることから、この設定としたところでは。

関連しまして、資料2の14ページをご覧ください。

数値目標として、当初設定していましたが「農業経営改善計画における農業所得合計額」を「農業産出額の北海道における割合」に変更しました。

この理由としましては、庁内でも所得額も天候や災害など外的要因に影響されやすく不安定でありますことから見直しが必要ではという意見があったこと、また、農業産出額を北海道全体に対する割合として設定することで、幕別町は、道内でも有数の産出額を占めていることを対外的に示すこと、さらには、北海道全体とすることで相対的な比較ができるためこのような指標に設定したところでは。

ただ、当該年度の産出額は2年後に発表となるため、現状とのズレや現行の施策を反映したものでありませんが、単年度だけの実績を評価するのではなく、あくまでも今後5年間での推移を検証するものであることから、このような指標としたところでは。

最後になります。資料1の5ページ目をご覧ください。

藤原会長から町発祥のパークゴルフに関する記載がなく寂しいとのご意見をいただきました。

この意見に対する対応として、資料2の18ページをご覧ください。

(1)のブランド戦略やシティプロモーションの推進の施策内容として、「パークゴルフの発祥の地として、国内外への情報発信に努めるとともに、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、一層の振興を図る」ことを追記しました。

この理由としては、町発祥であるパークゴルフというブランドを積極的に発信することで、町の認知度向上にもつなげていくため反映したところでは。

続いて、22 ページをご覧ください。

また、町のシンボルとしてパークゴルフと双壁をなすナウマン象につきましても、(5) 次代の郷土を担う子供たちへの支援の施策として、貴重な文化財の適切な保存管理などを行うものとしてナウマン象化石骨を追記したところであります。

以上が、総合戦略における修正事項でございます。

続いて、新たに設定、修正しました KPI に関する考え方について説明します。

資料 3 をご覧ください。

まず 1 枚目の基本目標 1 について説明します。

数値目標の農業算出額の北海道に占める割合については、町内の農業産出額が過去最高となった平成 29 年度の産出額 322 億円に対して、同年度の道内全体の産出額 1 兆 2,762 億円に占める割合 2.52% 以上を目指すこととしています。

KPI の自動操舵システム搭載トラクターの導入台数については、近年の導入台数の実績や今後の期待値も含めて町内で約 1 割以上の 300 台を目指すこととします。

続いて、基本目標 3 について説明します。3 ページ目をご覧ください。

一番下の道立幕別清陵高等学校入学者数については、当初 360 人と設定していましたが、入学者数と設定しているため、定員数 120 人に対する入学者数を毎年検証する形に変更し、120 人に修正しました。

最後に、次のページの基本目標 4 については、目標内容を正式名称とするため、幕別町公共施設等総合管理計画という文言を追記しました。

説明は以上でございます。

(藤原会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

(加藤茂樹委員)

基本目標 4 の KPI で自主防災組織の人口カバー率を 62% から 87% に設定されています。この目標はすごく良いことだと思いますが、今年の台風 19 号の影響で様々な災害があったわけですが、その中で防災に対応するソフトとハードの考え方が新しく出てきたように感じます。

この 87% という目標は、恐らくソフトの分で相当カバーしていると思いますが、ただ、ソフトの面だけで数字を上げるだけではなく、ハードの面でも付け加えることができないのかなと考えています。例えば、ソフト面では力を入れて対応することで人命は救えたけれども、一方でハード面では畑が浸水されて農業が再開できないということが、台風 19 号で全国的に教訓となっています。

この目標自体は素晴らしいことだと思いますが、それと平行してハード面についても、KPI や施策でも構わないので何か付け加えたらどうかなと思いますがいかがでしょうか。

(政策推進課長)

資料 2 の 23 ページに基本目標 4 の KPI の表がございますが、その一つ上の基本的方向の項目をご覧ください。

「社会生活基盤が整備された安心・安全なまちづくりを進めます」と示していますが、加藤委員からお話のありました内容につきましては、私達も重々承知をしております。災害時にはまず人の命を守り、人と人が助け合うようなソフト事業も大事になってきますし、今、国では国土強靱化と言いまして、大きな災害が来る前に道路や橋といった社会生活基盤や公共施設などを計画的に修繕することが必要といった考え方を示しております。

この文言では全てを読み取ることはできないかもしれませんが、1ページ開いていただいて25ページの具体的な施策の(6)に公共施設等の適切な維持管理として、「幕別町公共施設等総合管理計画個別施設計画」の策定作業の推進を掲げていますので、そういった中で今、委員からお話いただいた内容について対応してまいりたいと考えております。

(加藤茂樹委員)

ここでの、公共施設というのは建物のことも含んでいるのですか。

(政策推進課長)

はい。道路も橋も全て含んでいます。どうしても箱物のイメージがあるかと思いますが、この計画には、23ページにも記載しておりますとおり、道路や橋、河川、水道、公園など全て網羅されております。

(加藤茂樹委員)

今回の台風19号は、本州での被害が大きかったです。十勝は2016年8月に一度に4回も台風が上陸し、水害も地形的な要素が影響するなど色々なことが問題となりました。また、昨年は、胆振東部地震による停電などこれまで経験したことのない災害も発生しました。災害というのは常日頃から備えておかないといけないとあらためて思ったわけですが、少し抽象的な対応だと思いました。

(政策推進課長)

確かに抽象的な内容ではありますが、では、具体的に何をやるのかといった場合、このような公共施設の整備というのは当然町税だけでは難しいです。一方で、計画的に整備や修繕は必要となりますので、国の補助事業を活用しながら対応するわけですが、補助事業の活用を申請するためには、先程申し上げた公共施設に関する個別計画が必要となりますので計画をしっかりと策定すること、また、借金にはなりますが起債も活用しながら対応すると意味合いも含めていくことをご理解いただきたいと思います。

(加藤茂樹委員)

災害の規模や防災に対する考え方というのが今年の台風で変わってきたと考えています。今すぐにという話ではないですが、少し認識を変えていかなければならない時代に入ってきたと感じています。気候変動など様々なことが起きてきていますので、その辺を考慮していただきたいと思って発言させていただきました。

(藤原会長)

課長から説明がありましたとおり、国では国土強靱化を進めていますが、これを町村で実施しようとするのは不可能だと思います。幕別町であれば猿別川、途別川、札内川、十勝川といった大きな河川がありますが、国土強靱化を推進する中でこれらの河川は国に対応いただかないと町だけでは全く無理だと考えています。

その整備が終わった後に、これは強靱化というよりも長寿命化の分野になってくると思いますが、橋梁などの補修を行なわれると思います。もし、この総合戦略に文言を記載するのであれば、国土強靱化を推進するため国が全ての河川・道路の整備を行っていただくことを願いますという表現になると考えています。

その他ありませんか。

それでは、議案第1号は事務局から説明した内容のとおりとして終了させていただきます。事務局の方から何かありましたらよろしく願います。

(企画総務部参事)

本日の議論をもって案が完成いたしました。

この案をもって、来年1月10日金曜日から2月10日月曜日までパブリックコメントを実施いたします。

次回の審議会は、パブリックコメント終了後の2月中旬を予定しておりますが、このパブリックコメントでのご意見を踏まえまして、成案に向けた協議を行う予定でございます。

なお、次回の審議会をもって、次期総合戦略に関する協議及び今年度の審議会は終了となります。

説明は以上でございます。

(藤原会長)

ありがとうございました。

最後に一つだけ私からお話させてください。

最近、GPSを利用して外国人の方が利用するレンタカーから十勝管内での行動範囲を調べたデータがありまして、それを見ますと帯広以外は滞在時間が少ない傾向にあります。ちなみに幕別町は1Km²以内に30分以上滞在している車は大体5台だそうです。帯広市は157台、十勝川温泉37台、紫竹ガーデンも含めた中札内近郊が24、上士幌町が11台ということで、まとまった地区がなく通過型になっています。

それで、いかに幕別町に30分以上滞在させるよう取り組んでいかなければならないと思います。この東部4町でも幕別町はパークゴルフやナウマン象、豊頃町ははるにれの木やジュエリーアイスなど観光資源がありますので、他の地域と連携しながらその地域に長く滞在させるようなことをしなければ、なかなか外国人を誘客することは難しいと感じたところです。

それでは以上を持ちまして第4回の審議회를終わらせていただきたいと思います。

今日は本当にどうもありがとうございました。